



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社テクノスマート

上場取引所 東

コード番号 6246 URL <http://www.technosmart.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 進

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部統括部長 (氏名) 山田 靖

TEL 06-6253-7200

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	1,989	53.2	219	—	205	—	146	—
30年3月期第1四半期	4,254	123.4	548	918.5	572	806.4	389	832.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	12.10	—
30年3月期第1四半期	36.76	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	20,411	13,522	66.2
30年3月期	19,391	12,832	66.2

(参考)自己資本 31年3月期第1四半期 13,522百万円 30年3月期 12,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	8.00	—	22.00	30.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)平成30年3月期期末配当金の内訳 普通配当 8円00銭 特別配当 14円00銭

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	8.3	800	24.1	820	24.3	560	24.1	45.17
通期	18,000	26.0	1,800	42.6	1,820	42.0	1,200	34.7	96.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	12,401,720 株	30年3月期	11,471,720 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	6,663 株	30年3月期	6,663 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	12,115,057 株	30年3月期1Q	10,595,106 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予測は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(第1四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	8
品目別売上高、受注高、受注残高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

①経済情勢及び業界の概況

当第1四半期累計期間における世界経済は、米国や欧州で景気の回復が続きましたが、世界的な貿易摩擦への懸念が拭えない状況で推移しました。国内経済では緩やかな景気回復基調が継続しているものの、米国の保護主義的な通商政策や極東アジアを中心とする地政学的リスクから、当社を取り巻く環境は、先行き不透明な状況で推移しました。

当社の関係する光学系フィルム業界では、中国において液晶フィルム関係で大型設備投資が進められています。なお国内では新規投資の動きが見られるものの、中小型の規模の設備投資に留まっています。また、電気自動車関連の車載用リチウムイオン二次電池の業界でも国内で新規投資の動きが見られるものの大型投資は、中国と米国に集中しています。当社においても売上高に占める輸出の割合が増加しており、この傾向は、数年間は続くものと思われます。

このような状況下において、当社では、大きな成長が期待される電気自動車関連への車載用リチウムイオン二次電池の電極用やセパレータ用及び燃料電池用塗工乾燥装置、液晶テレビ・スマートフォン・タブレット端末用の光学フィルムやタッチパネル用塗工装置、医療材用塗工乾燥装置及び電子部品関連塗工乾燥装置の受注強化に取り組んでまいりました。その結果、海外における車載用リチウムイオン二次電池業界及びディスプレイ用光学フィルム業界での大型設備投資を堅調に獲得することができました。

②売上及び損益の概況

売上高は、1,989百万円（前年同期比53.2%減）となりました。主な最終製品別売上高は、ディスプレイ部品関連機器が761百万円（前年同期比61.9%減）、機能性紙・フィルム関連塗工機器が244百万円（前年同期比64.7%減）、エネルギー関連機器が520百万円（前年同期比63.4%減）となりました。売上高に占める輸出の割合は、76.3%（前年同期は86.9%）となりました。売上総利益は、4百万円（前年同期比99.4%減）、売上総利益率は、0.2%（前年同期は17.5%）となりました。販売費及び一般管理費は、223百万円（前年同期比15.0%増）となりました。営業損失は、219百万円（前年同期は営業利益548百万円）、経常損失は、205百万円（前年同期は経常利益572百万円）、四半期純損失は、146百万円（前年同期は四半期純利益389百万円）となりました。

売上高及び利益については、前第2四半期の受注減の影響による売上高の減少及び前第3四半期に受注した超大型製番が、当第1四半期において図面作成の時期にあたり設計工数の多くを当製番に使用したにもかかわらず、発注部材の納入時期が当第2四半期以後になるために工事進行基準適用対象に到達しなかったことから、前年同期に比べ大きく減少しました。しかし、通期予想としては受注残高も多く、全社一丸となり業績予想を達成すべく取り組んでいます。

③受注の概況

受注高は、3,727百万円（前年同期比16.1%減）、その内輸出受注高は、2,525百万円（前年同期比23.3%減）となり、受注高に占める輸出の割合は、67.8%（前年同期は74.2%）となりました。受注残高は、14,350百万円（前年同期比68.2%増）、その内輸出受注残高は、11,710百万円（前年同期比70.5%増）となり、受注残高に占める輸出の割合は81.6%（前年同期は80.5%）となりました。

品目別内訳は、リチウムイオン二次電池用部材関連の海外向け塗工設備、機能性紙・フィルム関連の国内向け及び海外向け塗工設備の受注を堅調に獲得することができましたが、個別の受注金額は、国内企業向けをはじめ、中国や韓国企業向けでも、国内外の設備メーカーとの価格競争は大変厳しいものとなっています。

今後も光学フィルム関連と合わせて、二次電池及び燃料電池などのエネルギー関連業界に対し、更なる販売強化に取り組むと考えております。

（2）財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

総資産は、20,411百万円(前期末比5.3%増)となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。負債は、6,889百万円（前期末比5.0%増）となりました。これは主に前受金の増加によるものです。純資産は、13,522百万円(前期末比5.4%増)となりました。これは主に新株予約権の行使に伴う株式の発行による資本金及び資本剰余金の増加によるものです。自己資本比率は66.2%(前期末は66.2%)となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は、平成30年5月11日に発表しました平成30年3月期決算短信における平成31年3月期業績予想値で、変更はありません。

なお、業績予想は、本発表日現在において入手可能な情報に基づき判断しており、当社の販売する設備は全て受注生産のため実際の業績は、受注時期及び納期など今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,493,281	7,288,253
受取手形及び売掛金	7,830,257	6,599,290
電子記録債権	1,251,324	1,112,110
仕掛品	186,027	396,265
原材料及び貯蔵品	48,456	49,649
その他	34,631	359,839
貸倒引当金	△3,679	△2,500
流動資産合計	14,840,300	15,802,909
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	717,352	706,241
機械及び装置（純額）	168,825	161,584
土地	2,026,407	2,026,407
その他（純額）	64,969	60,565
有形固定資産合計	2,977,555	2,954,798
無形固定資産	8,394	7,777
投資その他の資産		
投資有価証券	1,351,721	1,366,892
その他	215,770	281,738
貸倒引当金	△2,300	△2,300
投資その他の資産合計	1,565,192	1,646,331
固定資産合計	4,551,143	4,608,907
資産合計	19,391,443	20,411,817
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,615,297	1,437,420
電子記録債務	1,910,790	2,156,600
1年内返済予定の長期借入金	352,504	292,470
未払法人税等	259,290	12,760
前受金	676,688	1,157,452
賞与引当金	146,939	56,650
役員賞与引当金	40,311	19,046
その他	204,128	424,109
流動負債合計	5,205,950	5,556,510
固定負債		
長期借入金	194,720	158,647
退職給付引当金	649,377	665,641
資産除去債務	8,898	8,898
その他	499,834	499,834
固定負債合計	1,352,829	1,333,021
負債合計	6,558,780	6,889,531

（単位：千円）

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,412,014	1,953,930
資本剰余金	1,141,541	1,683,457
利益剰余金	8,680,271	8,281,365
自己株式	△3,215	△3,215
株主資本合計	11,230,610	11,915,536
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	490,159	502,715
土地再評価差額金	1,104,033	1,104,033
評価・換算差額等合計	1,594,193	1,606,748
新株予約権	7,858	-
純資産合計	12,832,662	13,522,285
負債純資産合計	19,391,443	20,411,817

（2）四半期損益計算書
（第1四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
売上高	4,254,192	1,989,259
売上原価	3,510,586	1,984,891
売上総利益	743,605	4,367
販売費及び一般管理費	194,689	223,913
営業利益又は営業損失（△）	548,916	△219,545
営業外収益		
受取利息	47	46
受取配当金	14,293	16,665
その他	11,531	5,797
営業外収益合計	25,872	22,509
営業外費用		
支払利息	971	548
株式交付費	-	7,528
その他	1,590	114
営業外費用合計	2,561	8,192
経常利益又は経常損失（△）	572,226	△205,228
特別損失		
工場建替関連費用	-	2,140
固定資産除却損	-	1,787
特別損失合計	-	3,928
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	572,226	△209,156
法人税等	182,703	△62,482
四半期純利益又は四半期純損失（△）	389,523	△146,674

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社が平成30年2月1日に発行した第三者割当による行使価額修正条項付第1回新株予約権は、前事業年度終了後、その一部につき権利行使され、平成30年5月21日までに行使が全て完了いたしました。この結果、当第1四半期累計期間において資本金541,915千円、資本準備金541,915千円増加し、当第1四半期会計期間において資本金が1,953,930千円、資本準備金1,466,663千円となっております。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 補足情報

品目別売上高、受注高、受注残高

（単位：千円、％）

品目		前第1四半期 自平成29年4月1日 至平成29年6月30日		当第1四半期 自平成30年4月1日 至平成30年6月30日		（参考） 自平成29年4月1日 至平成30年3月31日	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	塗工機械	3,470,364	81.6	1,851,123	93.1	12,665,266	88.7
	化工機械	741,201	17.4	92,800	4.7	1,421,888	10.0
	その他	42,626	1.0	45,334	2.3	198,251	1.4
	計	4,254,192	100.0	1,989,259	100.0	14,285,406	100.0
	内輸出高	3,697,257	86.9	1,517,060	76.3	11,257,020	78.8
受注高	塗工機械	4,390,664	98.9	3,611,895	96.9	18,145,551	97.8
	化工機械	—	—	74,750	2.0	209,442	1.1
	その他	49,979	1.1	41,276	1.1	198,612	1.1
	計	4,440,643	100.0	3,727,921	100.0	18,553,606	100.0
	内輸出高	3,293,051	74.2	2,525,949	67.8	14,684,462	79.1
受注残高	塗工機械	7,857,265	92.1	14,178,021	98.8	12,417,250	98.5
	化工機械	640,475	7.5	151,179	1.1	169,230	1.3
	その他	32,026	0.4	20,977	0.1	25,035	0.2
	計	8,529,767	100.0	14,350,178	100.0	12,611,515	100.0
	内輸出高	6,869,604	80.5	11,710,141	81.6	10,701,252	84.9